

## 要介護認定に係る認定審査会の簡素化について

### 1 簡素化対象要件と簡素化についての考え方

別紙当日配布資料 2 のとおり

### 2 簡素化の状況（平成 30 年 8 月 1 日現在、全道）

認定審査会数	簡素化あり	国基準どおり	独自基準あり	簡素化なし
76 団体	22 団体	12 団体	10 団体	54 団体

### 3 独自基準の内容

- (1) コンピュータ判定結果が要支援 2 / 要介護 1 の者について、状態の安定性に関わらず簡素化しない。
- (2) 国が定める簡素化対象となる 6 要件を満たす要支援 1 及び要介護 5 の方のみ簡素化する。
- (3) 国が定める簡素化対象となる 6 要件を満たす要介護 4 または要介護 5 の方のみ簡素化する。
- (4) 要介護 1 または要介護 5 である場合、簡素化を実施するが、認知症加算がある場合、簡素化を実施しない。
- (5) 前回の有効期間が 12 か月以上に加え、コンピュータ判定結果が要支援 2 か要介護 1 の場合は、前回の審査結果の有効期間が 24 か月以上であること。
- (6) コンピュータ判定結果が要支援 2 か要介護 1 の者については、状態の安定性に関わらず、簡素化を行っていない。

### 4 簡素化を実施した際に使用する資料（見本）

別紙当日配布資料 3-1、3-2 のとおり

## 要介護認定に係る認定審査会の簡素化について

### 簡素化対象要件

以下の6要件のすべてに合致する者について、認定審査会の簡素化を可能とする。

- 【条件①】 第1号被保険者である
- 【条件②】 更新申請である
- 【条件③】 コンピュータ判定結果の要介護度が、前回認定結果の要介護度と一致している
- 【条件④】 前回認定の有効期間が12か月以上である
- 【条件⑤】 コンピュータ判定結果が要介護1または要支援2の者の場合は、今回の状態安定性判定ロジックで「安定」と判定されている
- 【条件⑥】 コンピュータ判定結果の要介護認定等基準時間が「一段階重い要介護度に達するまで3分以内（重度化キワ3分以内）」ではない

1

## 要介護認定に係る認定審査会の簡素化について

### 簡素化についての考え方

- 簡素化の具体的な方法については、保険者において決定するが、少なくとも審査会の開催自体は実施することが適当。
- ①～⑥の条件に合致する者であっても、各保険者の判断により審査会を簡素化せずに実施することは妨げられない。  
また、保険者により①～⑥に加えて新たな要件を設けることも差し支えない。  
(例：コンピュータ判定結果が要支援2/要介護1の者については、状態の安定性に関わらず簡素化しないこととする 等)
- 認定審査会を簡素化して実施した場合も、介護保険法第27条第4項等に定める審査会への審査判定の求め及び同条第5項に定める審査会による審査判定を実施した扱いとなる。

2



審査順番号 : 0001
申請区分 : 更新申請 (\*\*\*\*\*)
被保険者区分 : 第1号被保険者
現在の状況 : 特定施設入居者生活介護適用施設 (ケアハウス等)

介護認定審査会資料

合議体番号: 000015
会場名 : \*\*\*\*\*
作成日 : 平成30年2月23日
申請日 : 平成31年4月3日 (\*\*\*\*\*)
調査日 : 平成31年4月5日 (\*\*\*\*\*)
審査日 : 平成31年4月12日 (\*\*\*\*\*)

簡素化

1. 一次判定等

氏名, 年齢, 性別, 被保険者番号, 保険者番号, 市町村名, 事業者番号, 認定調査員番号, 認定調査員資格, 医療機関番号, 主治医番号, 二次判定結果, 認定有効期間, 特定疾病名, 簡素化除外, 警告コード

3. 中間評価項目得点

Table with 5 columns: 第1群, 第2群, 第3群, 第4群, 第5群. Values: 100.0, 72.0, 100.0, 38.0, 100.0

4. 日常生活自立度

日常生活自立度, 障害高齢者自立度 (J2), 認知症高齢者自立度 (IIa)

5. 認知機能・状態の安定性の評価結果

認知症高齢者の日常生活自立度, 認知症自立度II以上の蓋然性, 認定調査結果, 主治医意見書

6. 現在のサービス利用状況(介護給付)

訪問介護, 訪問入浴介護, 訪問看護, 訪問リハビリテーション, 居宅療養管理指導, 通所介護, 通所リハビリテーション, 短期入所生活介護, 短期入所療養介護, 特定施設入居者生活介護, 看護小規模多機能型居宅介護

7. 主治医意見書項目

意見書項目, 認知症高齢者自立度, 短期記憶, 認知能力, 伝達能力, 食事

2. 認定調査項目

Table with 3 columns: 調査結果, 前回結果. Rows include 第1群 身体機能・起居動作, 第2群 生活機能, 第3群 認知機能, 第4群 精神・行動障害, 第5群 社会生活への適応

<特別な医療>

Table with 4 columns: 医療行為, 結果, 医療行為, 結果. Rows include 点滴の管理, 中心静脈栄養, 透析, ストーマの処置, 酸素療法, レスビレーター